

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	こども支援センターえがお
------	--------------

公表日

R7年 3月 14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1	・静かにできる部屋などを重ねて設定しています。 ・毎回環境を整え、目的に合わせて支援の部屋が配置されています。	活動スペースの有効利用を今後も検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	4	利用児の支援ニーズに対応できるよう、職員配置を考慮しながら支援を行っています。また、児童発達支援のスタッフとも連携し、センター全体で協力しながら支援を行っています。	長期休暇時など特に支援が必要で、現在利用しているこどもたちの様子を隅々まで見るためにはスタッフの人数が不足しているとの声もあり、今後も、より適切な支援が提供できるよう、職員の配置や業務の工夫を検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1	視覚的な情報提示を活用し、こどもたちが見通しを持って安心して活動に取り組めるよう環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0		

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	・リビング・ダイニングにある個室やクールダウンの部屋があります。 ・落ち着いて勉強ができるように仕切りがしてあるなど目的に合わせて支援の部屋が配置されています。	引き続き、こどもたちの特性に応じた環境を整え、必要に応じて柔軟に対応できるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	1	・人事考課制度あり。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0		保護者向け評価の内容を真摯に受け止め、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	2	年に2回職員との面談日を設け、業務内容や目標等についての意見を聞き、業務改善につなげています。	今後もスタッフが意見を伝えやすい環境を整え、より良い業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	14	第三者評価は受けていません。	現時点では、外部評価の実施予定はありませんが、引き続き内部での振り返りを重ねながら、支援の質の向上に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0		業務の都合などにより、すべての職員が毎回研修に参加することは難しい状況があります。職員が研修に参加しやすい環境づくりを進めながら、学びの機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	12	令和7年3月末までに公表予定	公表に向けて準備を進めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	0		

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1		時期によってはチームで十分に話し合う時間が確保できないことがありますが、今後は状況に応じて話し合いの機会を調整し、継続的に意見を共有できるよう検討していきます。

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	こどもが選択できる活動の幅を広げることで、いろいろな体験ができるよう工夫しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15	1	個別支援計画をもとに、こどもの特性や成長に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ、柔軟に支援を行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	支援開始前に、当日の利用児の体調等を確認し職員間で共有しています。 こども一人ひとりの特性やその日の状況に応じて、役割分担を決め、職員間で連携しながら支援を行っています。	今後、支援開始前の情報共有を徹底しより良い支援が行えるよう努めていきます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	4	支援の振り返りを行い、支援の中で気づいたことや、今後の課題等を共有しています。特に重要事項についてはセンター全体で報告・共有し支援の方向性を統一できるようにしています。	職員の勤務時間の違いにより、全員がそろって打ち合わせを行うことが難しい場面があるため、引き続き、連絡ノートや記録等を活用し、情報の共有に努めていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0	モニタリングの際には、保護者や他事業所などの関係機関と連携し、評価を共有しながら、新計画を作成しています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15	0		

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16	0	複数の活動を用意し、こども自身が選択できる環境を整えている。	今後も、こどもが自分で決める機会を増やせるよう、日常の場面でも選択の機会を意識的に設けていきます。
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	サービス担当者会議月の前月には日時調整の連絡が相談支援専門員よりあり、児童発達支援管理責任者が出席しており、場合によっては担当者も出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16	0	学校や保護者の方に事前を送迎時間をきいて対応にあたっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	1	就学前の支援機関が作成したサマリーシートを活用し、こどもの支援内容や特性を把握した上で支援を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	15	0		

連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	4		他の児童発達支援センターと協議し、地域への取り組みを今後検討しています。今後も、関係機関との連携を深め、地域全体で支援の質を高めていけるよう協議を進めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	11	現在、放課後児童クラブや児童館との定期的な交流は行えていません。	地域の子どもたちとかわる機会をもてるよう、交流の方法を検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	11	4	参加しています。	参加して得られたことを今後積極的に発信していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	日々の記録をしっかりと取り、電話等でも伝達しています。また連絡ノートで活動の内容等伝えていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	4		現在、家族向けの研修は開催できていませんが、今後、課題としてどのような形で実施できるか検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	児童発達支援管理責任者が契約時に丁寧に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		

保護者への説明等

38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	1	保護者の方から悩みがあった時は、随時、寄り添って話を聞く場を設けています。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	0	親子交流会を実施し、親同士が交流できる場を提供しています。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	緊急メール、フェイスブック、お便り等で発信しています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	新年度には必ず同意書の取り直しをしています。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	11		今後の課題として、地域との関わりを深める方法を検討し、可能な範囲で地域に開かれた事業運営を考えていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	法人内事業所と連携して訓練を行っています。	火災・地震を想定した訓練を行っています。法人内の事業所とも合同で訓練を実施し、緊急時に備えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0	・緊急時のマニュアルを作成し情報共有しています。 ・常に確認できるように一覧をファイルしています。（送迎時にてんかん発作が怒ることも想定し、緊急時対応できるようにしている）	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	・食物アレルギー生活管理指導表を基に管理栄養士と連携を図り、献立表の作成、食事提供しています。 ・アレルギーの診断書をもらっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1		避難訓練等不十分な点がある為長期休暇を利用した訓練を実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0		

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	ヒヤリハットの分析結果から委員会を開催して情報共有しています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	定期的な委員会の開催と研修を行っています。	今後も虐待防止研修を定期で行い組織として取り組んでいきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16	0	定期的な委員会の開催と研修を行いその周知を計り個別支援計画書に反映しています。	今後も身体的拘束等適正化の研修を定期で行い組織として取り組んでいきます。